

立原道造

故郷を建てる詩人

報告者

岡村民夫

法政大学江戸東京研究センター研究員・
国際文化学部教授

2018年

10月26日(金)

18時30分から20時30分

■報告の概要■

24歳で夭折した詩人建築家・立原道造。近著『立原道造——故郷を建てる詩人』に基づき、彼の詩と建築を、下町の東京人による「故郷」の探求として再評価する。師の堀辰雄の場合と同様、関東大震災とその後の東京下町の激変は、大きな故郷喪失感を彼にもたらした。1930年代における彼の文学と建築設計は、非常に西洋的でモダンに見えるが、その底には、下町の木造町屋や看板建築に対する郷愁、江戸東京人的な山岳信仰が見つかる。彼はそうした懐かしくバナキュラーなものへの志向を抱えながら、退嬰的な懐旧へ陥ることなく、高原や郊外に新鮮な「故郷」を捏造する方向へ歩んだのだ。

□司会

安孫子信

法政大学江戸東京研究センター研究プロジェクト・リーダー／
文学部教授

□会場

法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワー25階 B会議室
(所在地:東京都千代田区富士見2-17-1)

□入場料

無料、事前予約不要

□問い合わせ先

法政大学江戸東京研究センター事務室
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3
九段校舎別館1F 国際日本学研究所内
Tel:03-3264-9682
E-mail: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp

□詳細情報

<https://edotokyo.hosei.ac.jp/>